

**伊藤公平**(いとうこうへい)

慶應義塾長。'89慶應義塾大学理工学部卒業。'94カリフォルニア大学バークレー校Ph.D。'21より現職。専門は固体物理、量子コンピュータ。

**安達まみ**(あだちまみ)

聖心女子大学学長、文学修士(東京大学)、Ph.D.(英国シエイクスピア・インスティテュート)。主著『イギリス演劇における修道女像』(岩波書店)。

**梅本剛正**(うめもとよしまさ)

甲南大学全学共通教育センター教授。京都大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学(民刑事法専攻)。主著『現代の証券市場と規制』(商事法務 2005年)。

**高梨博子**(たかなしひろこ)

日本女子大学文学部英文学科教授。'04カリフォルニア大学サンタバーバラ校大学院言語学研究科博士課程修了。博士(言語学)。カリフォルニア大学デービス校等を経て現職。

**矢口悦子**(やぐちえつこ)

東洋大学文学部教授。'86年お茶の水女子大学大学院人間文化研究科博士課程単位取得

退学。博士(人文科学)。'03より現職、'20より東洋大学学長。

**守口剛**(もりぐちたけし)

早稲田大学商学学術院教授。東京工業大学大学院理工学研究科博士課程修了。博士(工学)。立教大学教授などを経て、'05より現職。主著『プロモーション効果分析』など。

**音好宏**(おとよしひろ)

上智大学文学部教授。'90上智大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。専門はメディア論。主著『放送メディアの現代的展開』ほか。

**高橋陽一**(たかはしやういち)

公益財団法人私立大学通信教育協会理事長。武蔵野美術大学教授。'93東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得退学。主著『共通教化と教育勅語』など。

**大屋雄裕**(おおやたけひろ)

慶應義塾大学通信教育部長・法学部教授。'97東京大学法学部卒業、学士(法学)。名古屋大学を経て、'21より現職。主著『法哲学』(共著)など。

**森光**(もりひかる)

中央大学法学部教授。'98中央大学法学部卒業、その後、中央大学大学院博士課程退学。主著『ローマの法学と居住の保護』('17)、『法学部生のための法解釈学教室』('23)など。

**範國将秀**(のりくにまさひで)

京都芸術大学通信教育課程事務局長。'88関西大学社会学部卒。広告制作会社勤務を経て、'02より現職。

**貝英幸**(かいひでゆき)

佛教大学歴史学部教授、'23より副学長兼生涯学習機構長。'92佛教大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。主要業績「電脳の世界に開かれた玄関」(『常照』)など。

**川原洋**(かわはらひろし)

(株)サイバー大学代表取締役兼学長。'84マサチューセッツ工科大学博士課程修了。S.C.D.。ソフトバンク(株)を経て、'12サイバー大学学長就任、'19代表取締役就任、現職。

**山崎日出男**(やまざきひでお)

学校法人昭和女子大学理事長。'79大阪大学経済学部卒業後、総理府(現・内閣府)入省。'17学校法人昭和女子大学監事、'23より

現職。

**石川 貴史**（いしかわたかし）

内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 参事官（統合戦略担当）。'02 文部科学省 入省。'24 より現職。

**成澤 めぐみ**（なりさわめぐみ）

大学図書館コンソーシアム連合（JUST ICE）事務局長。'92 東京大学附属図書館 に入職。'24 より現職。

**矢野 均**（やのひとし）

立命館大学学術情報部図書館学術情報課 課長。

**中原 康行**（なかはらやすゆき）

立命館大学研究部研究推進課課長補佐。

**久松 薫子**（ひさまつくにこ）

明治大学学術・社会連携部図書館総務事務 室。図書館情報大学情報メディア研究科修 士（図書館情報学）。

**北野 信彦**（きたののぶひこ）

龍谷大学文学部歴史学科文化遺産学専攻教 授。'82 愛知大学文学部卒業。博士（学術・史

学）。東京文化財研究所などを経て'16 から 現職。主著『建造物塗装彩色史の研究』など。

**乾 眞寛**（いぬいまさひろ）

福岡大学スポーツ科学部教授、FUSポま ちコンソーシアム幹事長。'84 筑波大学大 学院修士課程修了。'09 福岡大学サッカー部 監督としてチームを全国制覇に導く。

**鹿内 勇佑**（しかないゆうすけ）

東京農業大学応用生物科学部助教。'19 東京 大学大学院農学生命科学研究科博士課程修 了。博士（農学）。'23 より現職。

**野村 和宏**（のむらかずひろ）

甲南大学グローバル教養学環長・全学共通 教育センター特命教授。神戸市外国語大学 大学院外国語学研究科修士課程修了。神戸 市外国語大学教授等を経て'21 より甲南大学。

**目久田 純一**（めくたじゅんいち）

梅花女子大学心理こども学部准教授。'10 広 島大学大学院教育学研究科博士課程後期単 位取得退学。専門は教育心理学。

**崎野 温代**（さきのあつよ）

梅花女子大学心理こども学部教授。'81 滋賀

大学教育学部を卒業後、滋賀県内公立小学 校教諭、校長を経て'18 より現職。専門は生 活科教育、国語科教育。

**澤田 景子**（さわだけいこ）

名古屋学院大学現代社会学部講師。'06 日本 福祉大学大学院社会福祉学研究科福祉マネ ジメント専攻修士課程修了。'18 より名古屋 学院大学講師。

**白澤 秀剛**（しらすわひでたか）

東海大学理系教育センター准教授。'06 東海 大学大学院工学研究科博士課程後期修了。 博士（工学）。'23 より現職。JAXA 共同利 用システム研究員としても活動中。

**中澤 創太**（なかざわそうた）

株式会社日本ヴァイオリン代表取締役社長。 上智大学外国語学部卒業後、株式会社電通 へ入社。退職後、'14 現職に就任。楽器の貸 与事業のほか、クラシック音楽振興に尽力。

**外川 智恵**（とがわちえ）

大正大学表現学部教授。同大学卒業。カリ フォルニア臨床心理大学院修士課程修了。山梨 放送を経てフリー。NTT 技術ジャーナル巻頭 インタビュー、新語・流行語大賞の総合司会など。

〈お断り〉本稿は、お書きいただいた資料から、 できる限り統一して掲載いたしました。

「新たな公財政支援のあり方について」の公表

日本私立大学連盟は、急速に進む人口減少の中で、質の高い教育と研究を通じて学生一人ひとりの能力を高めることが大学の重要な責務であると考え、喫緊の課題として「新たな公財政支援のあり方について」提言をまとめました。

この提言では、大学教育を将来の社会発展に向けた人的投資と位置づけ、国が大学に対し新たな財源を確保し支援することを求めています。また、国公私立大学の設置形態に関わらず、大学教育の質を向上させるための公平な競争環境を整え、協調と競争を促す必要性を主張し、機関補助、個人補助、授業料のあり方について具体的な考えを提示しています。

また、8月7日（水）に記者会見を開催し、大学教育に対する十分な財源の確保によって学生の約8割の教育を担う私立大学の高度化を図り、そのことが社会



の活力と経済成長を生み出すという循環型社会の提案について、報道関係者と活発な意見交換を行いました。



▼「新たな公財政支援のあり方について」の詳細は、私大連ウェブサイトよりご覧いただけます。

[https://www.shidairen.or.jp/topics\\_details/id=4244](https://www.shidairen.or.jp/topics_details/id=4244)



会長の動き

- 7月2日（火）自民党政調会長に面会、日本私立大学団体連合会第129回役員会・第94回総会に出席
- 7月16日（火）第5回理事会、第4回常務理事会に出席
- 7月18日（木）文教関係国会議員に面会
- 8月1日（木）全私学連合第290回代表者会議に出席
- 8月2日（金）盛山文部科学大臣に令和7年度私学関係政府予算要望と税制改正要望を手交
- 8月7日（水）記者会見（「新たな公財政支援のあり方について」）に出席
- 8月22日（木）全私学連合「私学振興議会」に出席、文教関係国会議員に「新たな公財政支援のあり方について」の考えを説明・意見交換



開催報告

● 7月22日(月)

改正私立学校法対応に関する情報交換会、内部統制システムをはじめとする改正法対応の「いま」

● 7月25日(木)、26日(金)

財務・人事担当理事者会議(第1回)

● 8月5日(月)

FD推進ワークショップ(オンライン参加コース)

● 8月8日(木)、9日(金)

FD推進ワークショップ(対面参加コース)

● 8月20日(火)、21日(水)

教学担当理事者会議

● 8月27日(火)、28日(水)

監事会議

● 8月28日(水)

学長会議(第1回)

詳細は、私大連Webサイトを  
ご覧ください。

<https://www.shidairen.or.jp/>



私大連Presents 学長インタビューシリーズ

# 学長ときどき私

YouTubeで  
配信中!



## 人の魅力が、 私立大学をつくる。

学長の学生時代、研究の道に進んだきっかけ、プライベートの過ごし方や高等教育への思いなど、学長という一人の人間を通して私立大学で学ぶことの魅力を浮き彫りにします。

学生時代から、みんなです  
一つのものを作るのが好きです



若者の特権は夢を語ることに  
突き破るようなエネルギーを  
最大限に使ってほしい

Vol.5 名古屋学院大学 <2024年6月公開>  
赤楚 治之 学長(専門:英語学)

息子いわく、  
当時の私は  
子連れライオンそのもの



失敗を恐れず声を上げて提案し  
推進力になっていく実力を  
身につけてもらいたい

Vol.6 津田塾大学 <2024年7月公開>  
高橋 裕子 学長(専門:日米のジェンダー史)

尊敬する先生との出会いが  
研究の道へと進むきっかけに



学ぶ習慣と学ぶ方法を身につけて  
生涯学び続け、成長し続けてほしい

Vol.7 追手門学院大学 <2024年8月公開>  
真銅 正宏 学長(専門:日本近現代文学)

日曜日は包丁を研ぎます  
喜ばれるし楽しい



学問を通して  
本当の自分に出会える

Vol.8 金沢星稜大学 <2024年8月公開>  
大久保 英哲 学長(専門:体育・スポーツ史)

**座談会** 「令和時代の女子大学—その役割と可能性—」

**特集** 「どうする?デジタル時代における大学広報」

**小特集** 「入学試験はどう変わるのか—大学入学者選抜における好事例集から—」

**だいがくのたから** 白百合女子大学

**大学点描** 流通科学大学

**クローズアップ・インタビュー**

柏原 竜二さん(東洋大学社会学研究科博士前期課程)

## 編集後記

◆「学生の顔が見えない」

2020年4月、ウェブ会議システムやLMSを活用することで、なんとか授業を始めることができたものの、すぐに直面した困難の一つである。あたり前と思っていた「対面で学生の反応を確認しながら授業を進めること」のありがたさに気づかされ、はたと思いついたのが「通信教育ではどうやって確かめているのだろうか」。

その際に調べたことは、コロナ禍に手探りで教育を進めるうえで、大いに参考にさせていただいた。

コロナ禍を経て、学生の多様な状況に対応する、ICTを活用した教育が、通学制大学でも広がっている。いつでもどこでも就学できる環境が広がるなか、これまで長年積み上げてきた教育課程や学習支援体制をもとに通信教育が、今後、どのように展開、発展するのか、引き続き、学ばせていただきたいと考えている。

へ広報・情報委員会大学時報分科会  
委員・中央大学文学部教授松田美佐

◆今回の小特集では、研究活動において重要な情報基盤となる学術情報

を取り巻く環境変化とそこに内在する課題への対応に焦点を当てた。

各ご執筆のとおり、世界的な学術情報流通の変革期において、我が国としての施策方針や具体的な取り組みをお示しいただくとともに、実際の大学における「現場」で取り組まれている課題への対応策をご提示いただくことができた。

従来、学術情報の所管は図書館部門が担ってきたが、オープンアクセス掲載公開料（APC）という新たな契約手法の登場により、予算管理だけでなく、研究者の論文投稿への支援を行うため研究支援部門など、これまでとは異なる部門との調整・連携も必要となっている。契約費用の高騰や円安による影響など費用面の対応や工夫だけでなく、部門を超えた組織的な取り組みが求められていることが明らかとなり、今まさに同様の課題に向き合う大学の貴重な情報になった。〈広報・情報委員会大学時報分科会委員・関西学院広報部企画広報課課長 中谷良規〉

◆文化とは何か—本号の座談会、インタビューで感じた問いである。

インタビューゲストの中澤創太さんは、音楽を通じて日本と欧米の、芸術家を支援するパトロン文化、企業がオーケストラ等へ積極的に行う寄付文化の違いを提示している。座談会においては、生涯教育に対する企業や社会の受け止め方・評価などの文化が指摘された。

課題として提示された文化ではあるが、座談会の企画作成にあたり、生涯教育の歴史を辿って感じたことがある。生涯教育の変遷は社会情勢の変化の投影でもあるが、その根底にあるものは、社会の要請だけではないということだ。矢口学長の言葉を借りれば、「仕事のために限らず、人間は常に学びながら生きていくもの」だということである。中澤さんは世界レベルの仕事を通じて知識や教養が欠かせないことを実感され、大学での学び直しを望んでおられた。これはまさに、学び続ける姿勢の表れだと感じる。

かつて高等教育はごく限られた人たちのものであったが、現在の大学進学率は57.7%となっている。今後は学びの継続のあり方も、大学の魅力の一面となることが期待される。〈日本私立大学連盟事務局 加賀崎奈美〉

# 一般社団法人 日本私立大学連盟 加盟大学一覧

※ 大学名ABC順 / ※ } は同一学校法人 (120大学 令和6年9月20日現在)

愛知大学  
亜細亜大学  
青山学院大学  
跡見学園女子大学  
梅花女子大学  
文教大学  
筑紫女学院大学  
中京大学  
中央大学  
大東文化大学  
獨協大学 }  
獨協医科大学 }  
姫路獨協大学 }  
同志社大学 }  
同志社女子大学 }  
フェリス女学院大学  
福岡大学  
福岡女学院大学 }  
福岡女学院看護大学 }  
学習院大学 }  
学習院女子大学 }  
白鷗大学  
阪南大学  
広島女学院大学  
広島修道大学  
法政大学  
実践女子大学  
上智大学  
城西大学 }  
城西国際大学 }  
順天堂大学  
金沢星稜大学

関西大学  
関西学院大学  
関東学園大学  
関東学院大学  
慶應義塾大学  
敬和学園大学  
神戸女学院大学  
皇學館大学  
國學院大學  
国際武道大学  
国際基督教大学  
駒澤大学  
甲南大学  
久留米大学  
共立女子大学  
京都産業大学  
京都精華大学  
京都橘大学  
九州産業大学  
松山大学  
松山東雲女子大学  
明治大学  
明治学院大学  
宮城学院女子大学  
桃山学院大学 }  
桃山学院教育大学 }  
武蔵大学  
武蔵野大学  
武蔵野美術大学  
名古屋学院大学  
南山大学  
日本大学

日本女子大学  
ノートルダム清心女子大学  
大阪学院大学  
大阪医科薬科大学  
大阪女学院大学  
大谷大学  
追手門学院大学  
立教大学  
立正大学  
立命館大学 }  
立命館アジア太平洋大学 }  
龍谷大学  
流通科学大学  
流通経済大学  
西武文理大学  
聖学院大学  
成城大学  
聖カタリナ大学  
成蹊大学  
西南学院大学  
聖路加国際大学  
清泉女子大学  
聖心女子大学  
専修大学 }  
石巻専修大学 }  
芝浦工業大学  
白百合女子大学 }  
仙台白百合女子大学 }  
昭和女子大学  
創価大学  
園田学園女子大学  
大正大学

拓殖大学  
天理大学  
東邦大学  
東北学院大学  
東北公益文科大学  
東海大学  
常磐大学  
東京女子大学  
東京女子医科大学  
東京経済大学  
東京国際大学  
東京農業大学 }  
東京情報大学 }  
東京歯科大学  
東洋大学  
東洋英和女学院大学  
東洋学園大学  
豊田工業大学  
津田塾大学  
和光大学  
早稲田大学  
山梨英和大学  
四日市大学 }  
四日市看護医療大学 }

## 大学時報

University Current Review

2024/9月号

第73巻418号(通巻431号)

令和6年9月20日発行

編集人 音好宏(上智大学文学部教授)

発行人 森康俊(関西学院大学学長)

発行所 一般社団法人 日本私立大学連盟

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25

私学会館別館

電話 03-3262-8672 FAX 03-3262-4363

<https://www.shidaiaren.or.jp>

編集 株式会社 WAVE

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田3-3-20

明治安田生命大阪梅田ビル3階

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-2-1

住友不動産虎ノ門タワー20階

松田美佐(中央大学文学部教授)

須藤智徳(法政大学多摩事務課課長)

中山映(上智大学学事局学事センター事務長)

玉村まゆか(関西大学総合企画室広報課課長)

中谷良規(関西学院広報部企画広報課課長)

河越英代(慶應義塾広報室長)

野見山智道(明治大学経営企画部広報課長)

大野百合子(立教学院総長室渉外課課長補佐)

立岩健一(立命館大学総合企画部広報課課長)

山田健太(専修大学文学部教授)

高橋慈海(大正大学ブランディングセンターセンター長、広報部部长)

大谷奈緒子(東洋大学社会学部教授)

五十嵐俊也(津田塾大学経営企画課課長)

小泉邦人(早稲田大学エクステンションセンター事務局長兼社会人教育事業室課長)

齋藤淳(日本私立大学連盟事務局)

加賀崎奈美(日本私立大学連盟事務局)

吉田匡孝(日本私立大学連盟事務局)

